



日本語ドメイン名技術解説

社団法人

日本ネットワークインフォメーションセンター

2000年12月4日

日本語ドメイン名とは

- 汎用JPドメイン名のうち、第2レベルドメインに1文字以上の漢字、仮名(平仮名・片仮名)、記号を含むすべてのドメイン名

JPNICの方針

- IETF IDN WG の方針に従う
 - 文字セットは Unicode (ISO/IEC 10646) の UCS を使う
 - IAB が発行した RFC2825、RFC2826 の方針に従う
 - 文字エンコーディングは ACE (ASCII Compatible Encoding) を使う
- ZLD方式は採用しない
- DNS プロトコル上での文字エンコーディングとして ACE を採用する

JPNICの方針

- 運用試験期間中の ACE としては、RACE (Row-Based ACE)を採用する
- JP ゾーンのネームサーバに、日本語ドメイン名を設定するリソースレコードは NS とする
 - A、AAAAへの登録は正式運用開始後
 - 日本語ドメイン名のメールアドレス登録も同様
- 日本語ドメイン名として使用可能文字等の条件
 - 汎用JPDメイン名登録等に関する技術細則にしたがう

RACEの例

- 日本語ドメイン名.JP



BQ--3BS6KZZMRKPDBSJQ4EYKIMHTKQGQ.JP

- 混在EXAMPLE.JP



BQ--3BW7OVZIABCQAWAAIEAE2ACQABGAARI.JP

- ABCカンパニー.JP

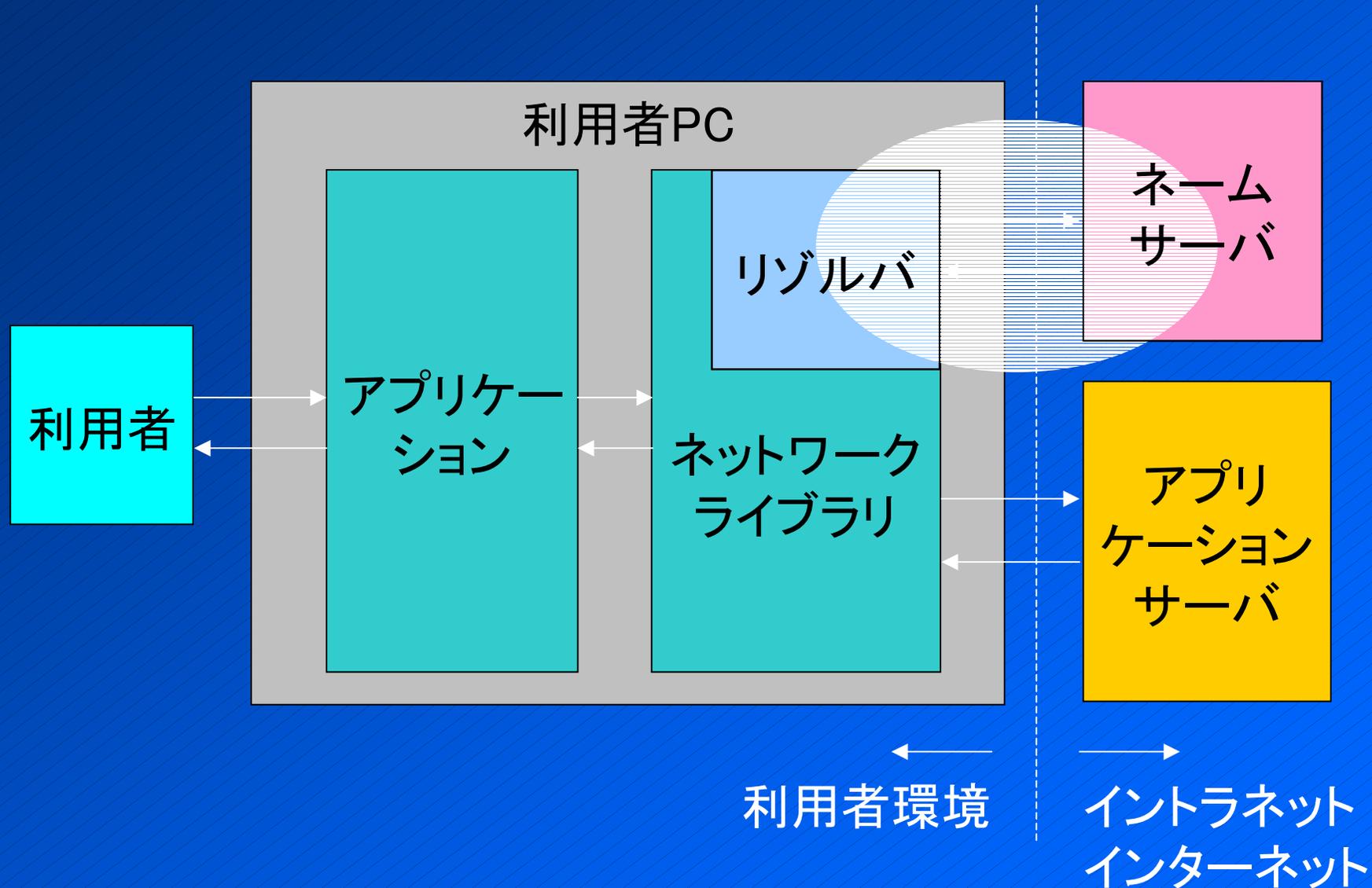


BQ--GD7UD72C75B2X46RZP6A.JP

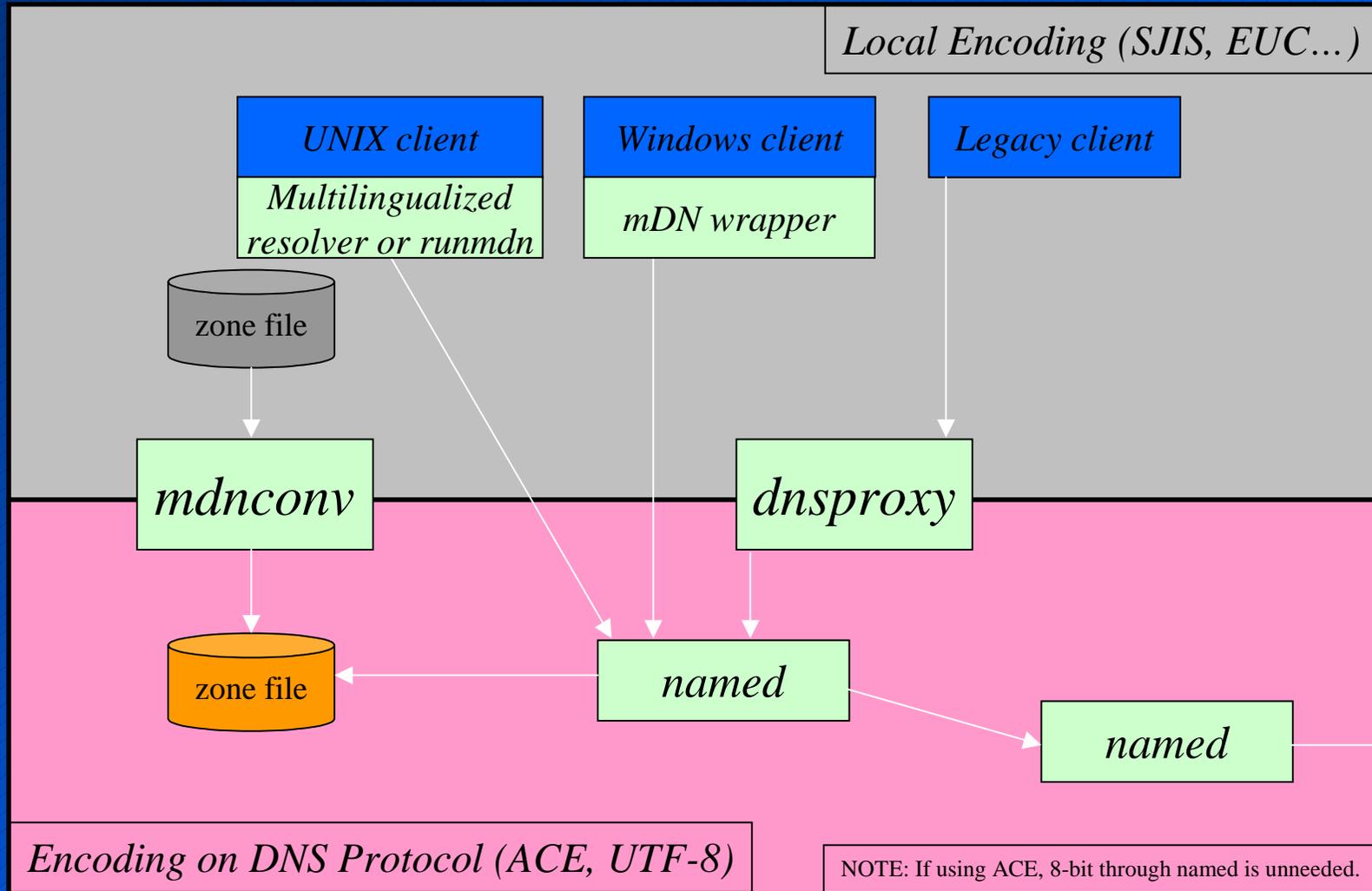
日本語ドメイン名の利用

- JPNIC が配布している多言語ドメイン名評価キット (mDNkit) を使うことで一部対応可能
 - ネームサーバに問い合わせでドメイン名を解決するアプリケーションは対応可能
 - Webブラウザなど
 - ドメイン名がメッセージとして使われるアプリケーションやサービスは対応不可
 - メールクライアント、メールサーバ、Web サーバの仮想ホスト機能、透過型 Web Proxy など

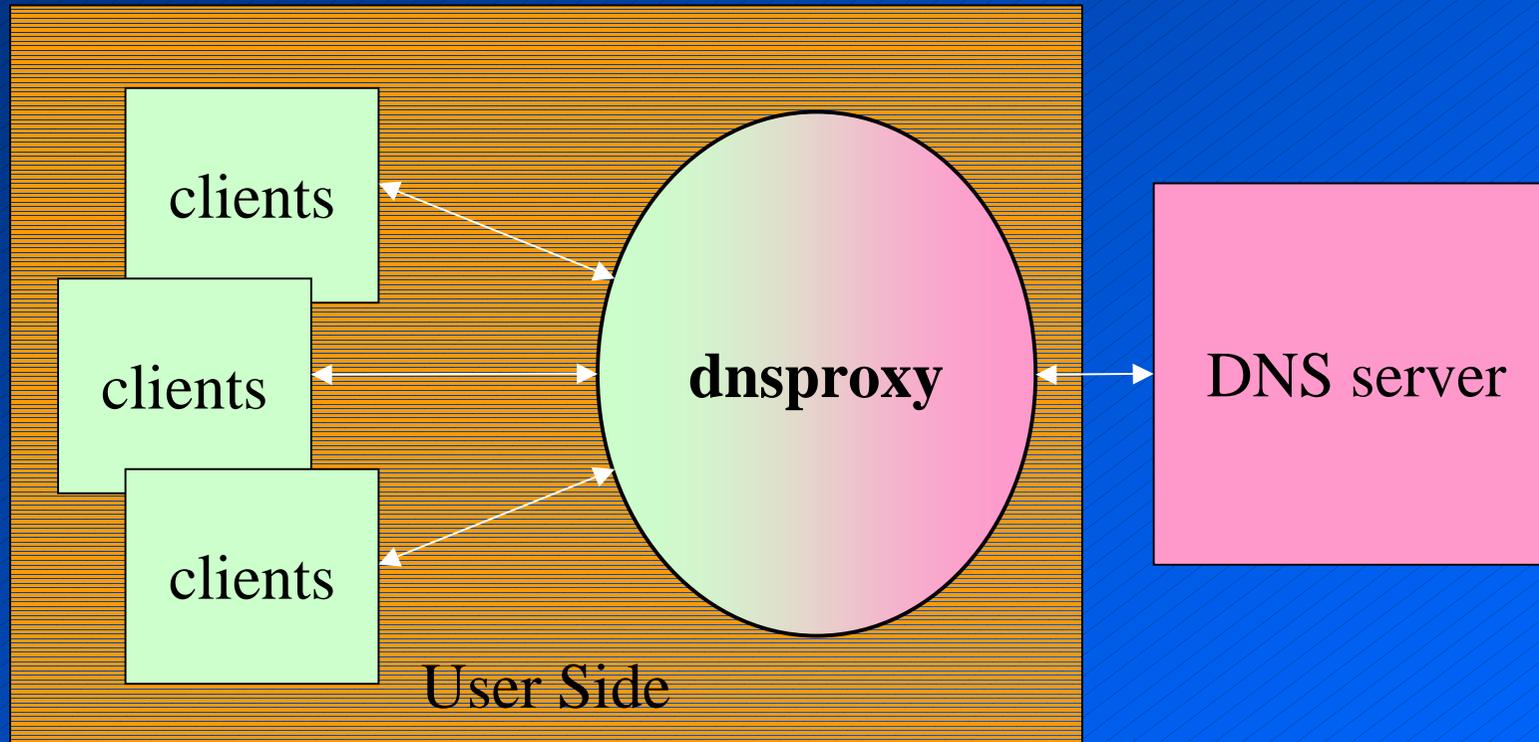
利用イメージ



多言語ドメイン名評価キット (mDNkit)



dnsproxy



runmdn / mDN Wrapper

